

平成31年2月28日

スマート自治体の実現を目指して

～RPAとAIスピーカーの実証実験を実施します～

市では、2社の民間企業と覚書を締結し、平成31年2月末から5月末にかけて庁内事務処理へのRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）活用とAIスピーカーによる施設案内システムの実証実験を実施します。

実証実験では、導入による効果や課題などをそれぞれ検証して参ります。

記

（1）庁内事務処理へのRPA活用

- ・概要 … 本市業務の中から数件の業務を選定し、RPAを導入・運用して、業務の削減効果や導入に向けた課題などを整理するもの。
広報紙作成事務、障がい者福祉事務で実施予定。
- ・覚書締結先 … NTT東日本福島支店（福島市山下町5-10）
- ・実施期間… 平成31年2月25日～平成31年5月31日

（2）AIスピーカーによる施設案内

- ・概要 … AIスピーカーの問い合わせ応答機能を活用し、来訪者が手続きや目的を問い合わせると担当課名を音声で回答するとともに、タブレットにフロアマップを表示するもので、回答精度や有効性等を検証するもの。
- ・覚書締結先 … (株)福島情報処理センター（郡山市桑野三丁目18-24）
- ・実施期間… 平成31年3月1日～平成31年5月31日
- ・設置場所… 市役所本庁舎1階（正面玄関付近）

担当：情報政策課 情報政策係
課長 佐藤雅宏、係長 八島亨圭
電話 024-525-3709（直通）

ORPA概要

1 概要

パソコンのマウス操作やキーボードの操作などを、ソフトウェアで自動処理させる仕組みのこと。データ入力など単純作業を置き換えることで、正確性の向上とともに、作業に係る労力の削減が期待されている。

複数自治体の様々な業務で実証実験が実施されており、国でも H31 予算で RPA 導入補助事業が予定されており、働き方改革に大きく寄与するものとして期待されている技術である。

<実証実験で導入するRPAソフト>

「WinActor（ウィンアクター）」

2 RPAの一般的な活用範囲・活用イメージ

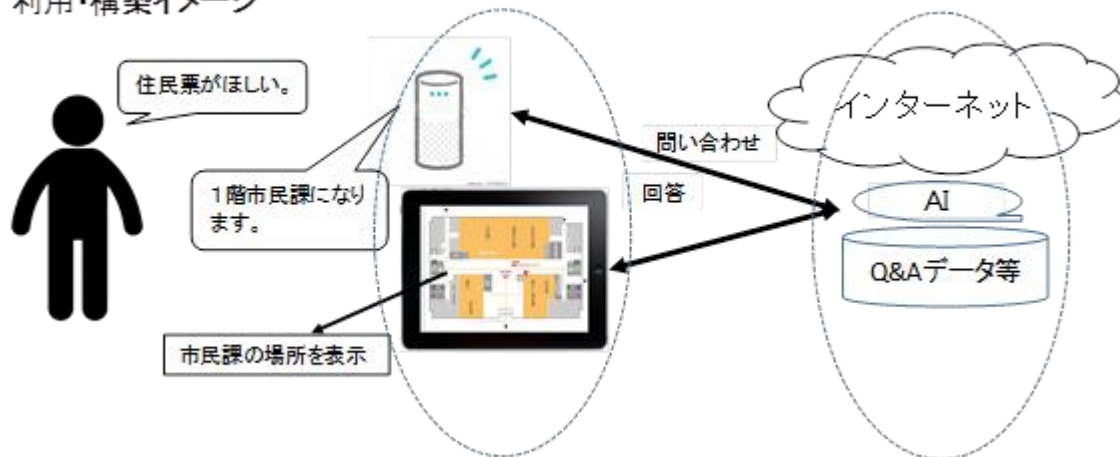
- ①絶対的に作業時間が多い業務（1回の作業時間、作業頻度、作業数など）
- ②同様の作業が多い業務
- ③作業時間が就業時間外となる業務
- ④作業時間が限定的で他作業を中断して行う業務
- ⑤作業者が要望する業務（作業時間は多くないが、作業難度や負荷が高い）

○A Iスピーカーによる施設案内システム概要

1 概要

A Iスピーカー（Google 社製）とタブレット端末を組み合わせることで、来訪者が、A Iスピーカーに手続き名や書類名など来訪の目的を話しかけると、音声で担当課名をお知らせするとともに、タブレットに案内図を表示するもの。

利用・構築イメージ



2 機器構成

①A Iスピーカー

Google 社製スマートスピーカー「Google Home」

②タブレット

10インチ型タブレット端末（ディスプレイとして利用）

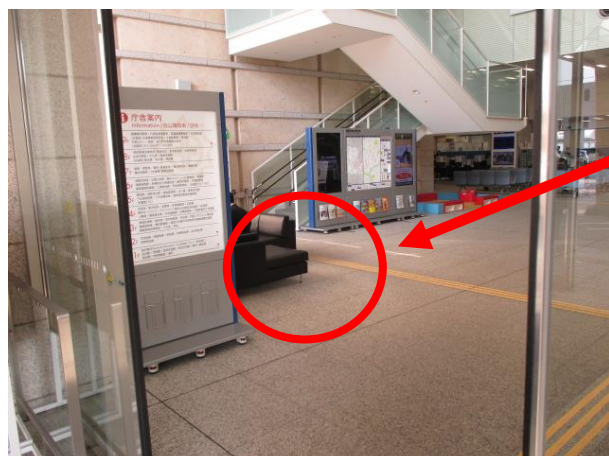
※導入した場合の費用

機器購入費 約 70,000 円

システム利用料 年額約 400,000 円

3 設置場所

本庁舎1階 正面玄関入口（向かって左側）



設置場所